

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和5年度分）

施設名	茨城県鹿行生涯学習センター
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	(公財) 茨城県教育財団
指定期間	R3. 4. 1～R8. 3. 31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	行方市宇崎 1389
施設の概要	敷地面積 14,219 m <sup>2</sup> 本館（RC4階）6,957 m <sup>2</sup> 主な施設内容 宿泊室（16室 56名）、図書情報・相談コーナー、音楽視聴覚室、多目的ホール（308名）、美術工芸室、トレーニング室、大研修室（144名）、託児室、保健室、談話室、小・中研修室（4室）、和室研修室、特別会議室、講座室（2室）、飲食スペース（112名）
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民への生涯学習に関する情報や学習機会の場の提供及び社会教育の推進</li> <li>・ 施設設備の維持管理</li> <li>・ 施設利用に関する業務</li> <li>・ その他上記に附帯する業務</li> </ul>

2 職員の状況

常勤職員： 8 人	非常勤職員： 11 人	合計： 19 人
-----------	-------------	----------

3 収支状況

令和5年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	140,145,930	人件費（給与等）	32,807,233
利用料収入	6,636,000	指定事業費	3,038,035
指定事業収入	838,000	管理費	98,564,703
自主事業収入	1,730,506	租税公課等	4,626,312
その他	93,780	自主事業費	1,680,644
収入合計	149,444,216	支出合計	140,716,927

4 利用状況

	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
①年間利用日数(日)	310 日	308 日	277 日
②年間利用者数(人)	53,771 人	53,218 人	45,094 人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	6,636,000 円	6,159,970 円	3,201,370 円

## 5 サービス向上に向けた取組み

- 利用料金割引制度の導入
  - ・平日夜間料金の割引制度
  - ・当日利用申込みの半額割引
  - ・スタンプカードによる割引
- 食事提供業務の再開
  - ・令和6年2月1日から食堂での食事提供を再開

## 6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法  
年間を通じて施設利用者に対してアンケート調査を実施した。  
(回答 577 件)
- 調査結果
  - ①開館日・開館時間  
大いに満足 37.1%、満足 31.1%、ふつう 25.9%、不満 5.2%、大いに不満 0.7%
  - ②職員・スタッフの応対  
大いに満足 55.1%、満足 31.3%、ふつう 12.9%、不満 0.7%、大いに不満 0%
  - ③施設の清潔さ  
大いに満足 53.8%、満足 33.6%、ふつう 11.7%、不満 0.7%、大いに不満 0.2%
  - ④プログラムの内容  
大いに満足 33.3%、満足 20.8%、ふつう 45.9%、不満 0%、大いに不満 0%
  - ⑤施設全体  
大いに満足 53.6%、満足 36.6%、ふつう 9.8%、不満 0%、大いに不満 0%
- 利用者からの意見等
  - 【良い点】
    - ・宿泊室の部屋がきれいで、とても使いやすかった。
    - ・お風呂が清潔で広く快適で過ごしやすい空間だった。
    - ・施設内で迷っていたところ、スタッフの方に親切に対応していただき、心地よく過ごせた。
  - 【悪い点】
    - ・各宿泊室にトイレがないのが不便。
  - 【要望】
    - ・虫の対策をしてほしい。
    - ・宿泊室に Wi-Fi が欲しい。
- 対応状況
  - ・虫の対策については、定期的な害虫駆除の外部委託の他、虫よけの設置を行っている。
  - ・Wi-Fi 環境については、事前に使用できる場所を案内して対応した。

## 7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務委託し、適切に管理している。	A	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	清掃業務委託業者による所内外の清掃を計画的に実施している。	A	B
	破損個所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものは予算の範囲内で優先度を考慮し修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例・規則等を遵守し、適切な運営を行っている。	A	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	継続して利用していただけるよう、懇切丁寧な対応を心掛けている。	A	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	高校生によるイベントの開催や、図書コーナーを充実させるなどにより、サービスの向上を図っている。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケートでの意見・要望については、可能な限り速やかに対応するよう努めている。	A	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。	A	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望・苦情等に関する情報提供と共通理解を適切に図り、県への報告を速やかに行っている。	A	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	具体的な災害時を想定した危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練を実施し、緊急時に備えた適切な体制を整えている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	教育事務所や鹿行5市の教育委員会、高校を含む学校等と連携を図っている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	利用者数値目標は、達成できた。	A	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	研修室により稼働率の偏りが見られるため、稼働率を上げるためさらなる工夫が必要である。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	収支計画に基づき、適正に執行している。	A	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	節電やペーパーレス化に努めた。また、必要な経費については、適切に支出し、軽重を付けながら効果的な削減に努めた。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

鹿行5市、教育事務所、高等学校等と連携しながら、地域課題や現代的課題の解決に向けた事業を展開している。また、地域の高校生が主体となって企画運営を行うイベントを開催したり、施設の特性を生かして1泊2日でボランティア養成研修を実施したりするなど利用拡大を図っている。さらに、利用者の要望に対しきめ細やかに対応するなど、サービスの向上に熱心に取り組んでいることがリピーターの獲得に結び付いていると考えられる。以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
  - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
  - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの